

第2章 高次脳機能障害の基礎知識

1 高次脳機能とは

さて、第1章では、高次脳機能障害の相談支援の基本について、書いてきましたが、そもそも、高次脳機能障害とは、どういったものなのでしょうか。この章では、高次脳機能障害に関する基本的な知識を整理したいと思います。

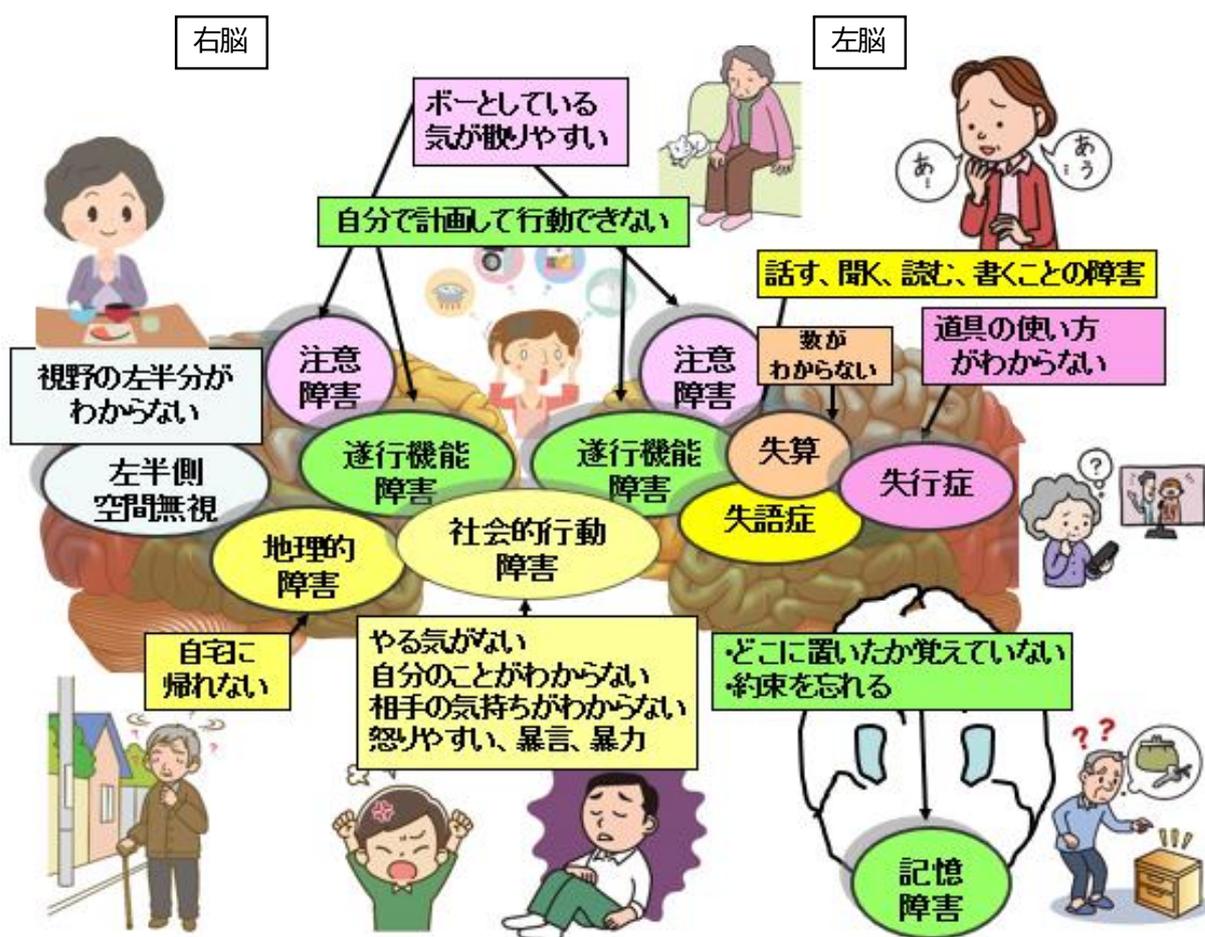
まず、高次脳機能障害でいう「高次脳機能」とはどんな機能なのでしょうか。

ヒトの脳には、呼吸や血圧、体温など生命を維持する機能のほかにも、

- ① 手や足などを動かす運動機能
- ② 音やにおい、手触りなどを感じる知覚機能
- ③ 記憶、認知、感情、言語などを支配する高次脳機能

という主に3つの機能があります。このうち、③は、霊長類、とりわけヒトにおいて最も発達した機能なので、「高次」といわれています。

日常生活でみられやすい高次脳機能障害と脳部位



東京慈恵会医科大学附属第三病院 リハビリテーション科 診療部長 渡邊 修 教授 作成資料より

2 高次脳機能障害とは

(1) 高次脳機能障害とは

事故や病気などによって脳が損傷を受けると、損傷した場所によって様々な症状が表れます。その中でも、高次脳機能に障害が起きた状態を高次脳機能障害といいます。

高次脳機能障害でいう症状には、後で述べるように、記憶障害、注意障害、遂行機能障害など様々なものがあります。

ところが、こういった症状を持つことが、一般に外見からは分かりにくい（本人が気がつかないこともあります。）、周りの人の理解を得ることが難しく、誤解されてしまうことも多いのです。その結果、つらい思いをされる本人や家族の話もよく聞かれます。



(2) 高次脳機能障害者の数

では、この高次脳機能障害がある方はどのくらいいるのでしょうか。

平成 13(2001)年度から5年間行われた高次脳機能障害支援モデル事業において、国立障害者リハビリテーションセンターが大阪府と広島県の調査をもとにして算出した推定値では、このような障害者が全国に約 27 万人、18 歳以上 65 歳未満の年齢層に区切れば約7万人いるとされています。栃木県の人口に換算すると、全年齢で約 4,500 人、18 歳以上 65 歳未満の年齢層では、約 1,200 人という数字になります。

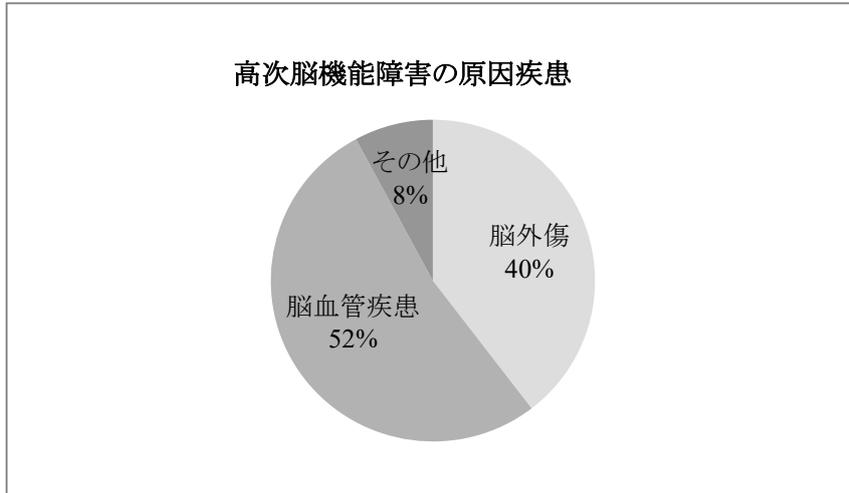
なお、厚生労働省が行った「生活のしづらさに関する調査(平成28年度)」結果に基づいて算出した推計値では、全国に 33 万人、うち 18 歳以上 65 歳未満の年齢層では約8万人いるとされています。これを本県の人口に換算すると約 5,000 人、18 歳以上 65 歳未満の年齢層では約 1,200 人の高次脳機能障害者がいると推定されます。

(3) 高次脳機能障害を引き起こす主な疾患

高次脳機能障害を引き起こす主な疾患には、以下のようなものがあります。

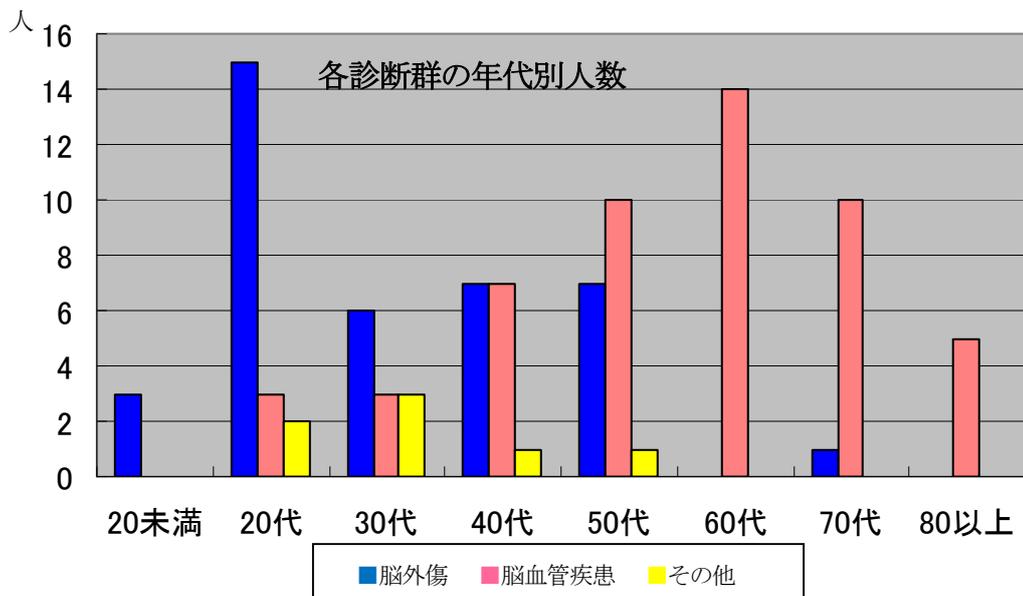
脳 外 傷 : 脳挫傷、びまん性軸索損傷、急性硬膜下出血など
脳血管疾患 : 脳梗塞、脳出血、くも膜下出血など
そ の 他 : 脳炎、脳腫瘍、低酸素脳症 など

平成 21(2009)年に本県が高次脳機能障害の家族や支援者に実施した調査では、脳外傷が 39.6%、脳血管疾患が 52.5%、その他が 7.9%という結果が出ています。



出典: 栃木県高次脳機能障害実態調査報告書(H22.3)

また、同じ調査では、発症時年齢について、脳外傷が26.2歳、脳血管疾患が55.4歳という結果が出ています。この結果からも分かるように、一般に、脳外傷は若年層に、脳血管疾患は比較的高齢者層に多い傾向があります。



3 高次脳機能障害の主な症状と対応・支援のポイント

高次脳機能障害には、様々な症状が個別に、あるいは複数併せて表れることがあります。そこで以下では、個々の症状とその簡単なチェック方法、そして、どのように対応したらよいかという対応・支援のポイントを紹介します。

(1) 記憶障害

事故や病気の前に経験したことが思い出せなくなったり、新しい経験や情報が覚えられなくなった状態をいいます。

特に、脳外傷や脳血管疾患による記憶障害では、古い記憶は良く保たれている一方、新しいことを覚えることが難しくなることが多く見られます



行動をチェックしてみましょう。

- 新しいことが覚えられない。
- 日付や場所が分からない。
- 忘れっぽいことに気づいていない。
- 昔のことが思い出せない。

対応・支援のポイント

- ・メモやスケジュール表など代償手段を活用しましょう。
- ・繰り返しの練習を行いましょう。
- ・復唱するなど、五感を活用するようにしましょう。

(2) 注意障害

周囲からの刺激に対し、必要なものに意識を向けたり、重要なものに意識を集中させたりすることがうまくできなくなった状態をいいます。また、気が散りやすく疲れやすいため、作業が長続きしないことがあります。



行動をチェックしてみましょう。

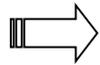
- 集中できない。
- 持続性に欠ける。
- うっかりミスが多い。
- 二つのことに気を配れない。

対応・支援のポイント

- ・作業は、音や光など気を散らすものの無い所で行いましょう。
- ・集中できる時間を確認し、休息をこまめにとりましょう。

(3) 遂行機能障害

必要な情報を整理し、目的をもって計画し、段取りをつけて処理していく「一連の作業」を行うことが難しくなる状態をいいます。また、自分の行動を評価したり、分析したりすることが難しくなるため、必要に応じて計画の変更をするなどの対応をとることが難しくなります。



行動をチェックしてみましょう。

- 計画が立てられない。
- 段取りが悪くテキパキ要領よくできない。
- 優先順位が決められない。
- 行動の途中で混乱する。

対応・支援のポイント

- ・計画をリストとして書き出しましょう。(視覚化)
- ・作業を事前に簡単なレベルまで分解しましょう。

(4) 社会的行動障害

行動や感情を場面に合わせて適切にコントロールすることができなくなった状態をいいます。病気や事故の前と人が変わったようになり、さまざまな適応上の問題が生じることがあるため、社会生活や社会参加がより困難になることがあります。



行動をチェックしてみましょう。

(固執性)

- 気持ちを切り替えられない。
- 同じことをし続ける。
- 1つのことを繰り返し言い続ける。

(抑うつ)

- やる気が出ない。
- 不安感、焦燥感が強い。
- 悲観的になりやすい。

(自発性低下)

- やる気が出ない。
- 動きたがらない。
- 何でも面倒に感じる。

(対人技能拙劣)

- 相手の気持ちを察することができない。
- 他者の落ち度を過度に指摘する。
- 一方的な主張をする。

(依存性・退行)

- ささいなことでも人に頼る。
- 口先ばかりで行動が伴わない。
- 家族に代弁を求める。

(欲求のコントロール低下)

- いくらでも食べてしまう。
- 先のことを考えずにお金を使う。
- 待てない。

(感情コントロール低下)

- 気分にもらがある。
- ささいなことで泣いたり笑ったりする。
- 一度にいろいろなことがあるとパニックを起こす。

対応・支援のポイント

(自発性低下の場合)

- ・行動のチェックリストを作成しましょう。
- ・アラーム等を使い、行動を起こすきっかけをつくりましょう。
- ・周囲からの声かけは、喜怒哀楽をはっきりさせて話しましょう。

(感情コントロール低下の場合)

- ・問題行動を起こす原因となる要因を見つけ、取り除きましょう。
- ・行動を起こす前に1呼吸入れるようにしましょう。

(5) その他の症状

このほかにも、高次脳機能障害の症状には、次のようなものがあります。

- ・失語症…話す、聞いて理解する、書く、読むことの障害です。
 - 話すことや言葉の理解が難しい。
 - 書くことや読むことが難しい。
- ・失行症…麻痺は無いのに、意図した又は指示された動作ができなくなる障害です。
 - 動作がぎこちない。 思い通りに動けない。
 - 操作手順が分からなくなる。
- ・失認症…見ているもの、聞いていること、触っているものが分からなくなる障害です。
 - 見えているのに何か分からない。
 - 知っている人の顔が見分けられない。
- ・地誌的障害…地理や場所が分からなくなる障害です。
 - 道に迷う。
 - 場所や方向など位置関係が分からない。
- ・病識欠如…障害を持っていることの認識がうまくいかない障害です。
 - 障害があることを理解できない。
 - なんでもできていると思っている。
 - 人の意見を聞かない。
- ・半側空間無視…身体の麻痺側への注意が払われなかったり、認識が低下してしまう障害です。
 - 食事の時、片側にある食べ物に気づかない。
 - 歩いている時に、片側にぶつかりやすい。
 - 文章の片側を見落とす。

気をつけましょう

「高次脳機能障害の支援方法に絶対はありません。」

「最近『脳の可塑性』という言葉がよく使われます。可塑性とは、日々変化していて、もとには戻らないことを意味します。(中略)つまり、昨日うまくいった対応法が今日ほうまくいかない、ということが、必ず起こります。(中略)しかし、私はそれでよいのだと思っています。見方を変えれば、効果が出ているととらえられるからです。(中略)『対応法』という名の『ものさし』を用いて、日々、お互いの変化、状況を理解し合うことが、最も大切なことだと考えます。」

(高次脳機能障害 橋本圭司 PHP 選書より抜粋)